



心のつながりすてきな笑顔④

企業活動と幸せづくり

近年、企業の社会に対する影響は大きくなっており、企業があらゆる人々や環境に配慮し、人権を守ることが必要とされています。こうした考え方は、企業の社会的責任(CSR)といわれ、国際的にも広がっています。

例えば、職場では仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現、採用や人事評価での公平性や機会均等の保障、セクシュアルハラスメントの防止など、従業員が安心して働きやすい環境づくりが挙げられます。

また、消費者に対しては、安全な商品を提供すること、顧客のデータやプライバシーを守ること、公正な取引をすることなどが挙げられます。

それに加えて、地域社会に対しては、事故や災害を起こさないこと、騒音などの防止に配慮すること、社会への貢献活動を通じて地域社会との関係を深めること

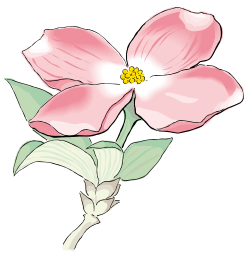
などが求められます。

市内には、企業で構成された人権推進企業関係者協議会が設置されており、学習会や研修会を通して、人権啓発に取り組んでいます。

企業と従業員の人権意識を高めることは、信頼関係を構築させ、企業活動を活性化させることにつながります。さらに、地域社会との関係を深め、人が触れ合い、ともに参画するまちづくりへとつながっていきます。

(人権啓発広報編集委員会)

※CSR:Corporate Social Responsibilityの略。



人権標語

(小学2年生の作品)

なくそじよいじめやなづつ ぼくたちで

きらっと☆宇根山天文台

～木星を観望しよう～

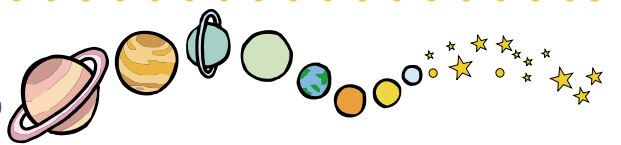
木星は、太陽系の中で最大の惑星で、その直径は地球の11倍もあります。

秋は、この木星の観望の好機です。南の空に、一晩中観望でき、日が暮れると目立って明るく黄金色に輝いて見えます。

この木星を天体望遠鏡で観察すると、さらにおもしろい発見があります。まず、木星の周りに、4つの星が並んで光っているのが見えます。時間をおいて観察すると、木星の周りを回っていることも分かります。惑星の周りを回る星を衛星と呼び、特にこれらは、1610年にガリレオが発見したことから、ガリレオの四大衛星と呼ばれています。

さらに望遠鏡の倍率を100倍ぐらいに上げると、木星の表面にしま模様が見えてきます。このしま模様には、一本一本に名前が付いています。好条件に恵まれれば、しまの形や濃淡までよく見えます。

ぜひ皆さんも、宇根山天文台で、木星や秋の天体を眺めて、いろいろな発見をしてみませんか。



秋の観望会&しの笛コンサート

秋の夜長に、しの笛の音色とともに、風流なひとときを過ごしませんか

とき 15日(土) 18時～22時(しの笛コンサート19時～)

出演 石原 千穂子、加藤千政、くい文化センターしの笛教室の生徒の皆さん

入館料 大人310円、中学生・高校生210円、小学生100円

※小学生未満、身体障害者手帳・療育手帳提示者は無料。

※希望者は直接会場へ。

問い合わせ先 青少年女性課(☎0848④9234)、宇根山天文台(☎0847③7145)